

名前:

今日、いつでもどこでもインターネットが利用できるようになり、情報発信のツールとしてインターネットの担う役割が拡大している。これまで新聞や雑誌が主として果たしていたニュースを発信するという役割も、しだいにインターネットが果たす部分が大きくなってきている。実際、インターネットで自由にニュースが見れるようになり、新聞や雑誌の発行部数は減少している。私は、この傾向は今後も進行していくと考える。また、インターネットが新聞や雑誌に取ってかわるこの事態は、私たちにあって歓迎すべき動きだとも考える。

インターネットでニュースを見てみると、新聞等と比べてインターネット上のニュースの方が情報量が多いことは一目で分かる。ニュースに鮮明な写真や動画が付いていることも最近では珍しくはない。また、インターネット上にニュースが掲載されるまでの時間は新聞等と比べて格段に短い。情報量の豊富さ

と迅速さという二点にはインターネットが新聞や雑誌にとってかわる十分な理由である。

これまでにインターネットの魅力も情報の受信者の視点から述べてきたが、情報の発信者に着目して見ても、インターネットの有用性が見えてくる。新聞や雑誌などを通して情報を発信できるのは記者やジャーナリストなどごく限られた人々だけだが、インターネットを使えば誰もが手軽に情報の発信者になれる。これを、情報の信ぴょう性の低下と見る人もいまだいるが、私はそうは考えない。大部分のメディアが人々の大量破壊兵器保持を叫んで人々戦争の結果を見ておろかるように、選り抜かれた人々が発信した情報もときに誤りを含む。また、選り抜かれた人が発信する情報はいやおうなしに信ぴょう性を帯びてしまうため、一度誤った情報が流れると大変危険だ。このような新聞や雑誌など現在権威を有しているメディアの短所を克服するという観点から、インターネットニュースの拡大

1800字

は、膨大な情報を得るべきだ。インターネットで豊富な
情報を得て、受信者自身が正しい情報を
得て、それを活用していくことが、これからのニ
ースのあるべき姿だと私は考える。